

地域再生基盤強化交付金事後評価 評価書

1 地域再生計画の名称
豊かな自然を活かした活力ある矢板市のまちづくり

2 地域再生計画の作成主体
栃木県、矢板市

3 地域再生計画の区域
矢板市の全域

4 計画期間
平成17年度～平成21年度

5 評価主体
矢板市

6 目標

【概要】 矢板市は栃木県の北東部に位置し、北部に八方ヶ原、県民の森、日光国立公園の一角をなす高原山が広がっており、緑豊かな地域である。

林業については、近年、輸入木材の流通による木材価格の低迷など厳しい環境にあり、経済意欲の減退や従業者の減少・高齢化が進行している。林業の担い手不足のため、植林した立木密度が高くなりすぎている間伐不足の森林の増加が大きな課題となりつつある。

また、工業については、矢板南産業団地（団地面積77.2ha）が東北縦貫自動車道矢板インターチェンジ、国道4号などの高速交通網が整備されている地域に位置しており、その有利さを活かしていくには、さらに、道路交通網を整備する必要がある。

交通基盤が整った地域においては「人」「物」が直接出会う時間と空間を提供し、観光や商業、地場産業など経済面の活性化を図るだけでなく、市民の生活や人生を豊かに、健全に保つための「癒し」の機能を持ったまちづくりが求められている。

このため、八方ヶ原や県民の森を「観光リゾート拠点」として位置づけ、県民の森周辺の林道整備により、県民の森の入場者数を5%増加させること、あわせて間伐実施面積を5%増加させる森林整備により地域環境の改善を図ることを目標としていきます。さらに林業の振興と観光のPR、企業誘致の推進、道路ネットワークの構築を図り、地域間交流、都市との交流を促進し、活力あるまちづくりを行っていく。市街地及び市街地周辺の市道の整備により交通渋滞していた箇所を緩和できるよう道路交通のネットワークを構築していく。

（目標1）県民の森の入場者数（従前値の5%増）

（目標2）市街地路線の整備により交通渋滞の緩和を図る
（市街地部の拠点間の連絡時間を3分間短縮）

（目標3）森林整備による地域環境の改善（間伐実施面積の5%増）

（目標4）施設拠点へのアクセス改善

・矢板駅～南産業団地の連絡時間を2分間短縮

・国道4号線（土屋地区）～県民の森の連絡時間を2分間短縮

7 地域再生基盤強化交付金を活用した事業

事業主体

市道：矢板市

林道：栃木県

施設の種類

市道、林道

総事業量及び総事業費

市道6.4 km、750,000 千円

林道4.5 km、147,400 千円

事業箇所図

別紙

8 その他の事業

まちづくり交付金事業（矢板地区）（矢板北地区） 平成17年度～平成21年度

・ 中心市街地の活性化・快適な都市環境の創造

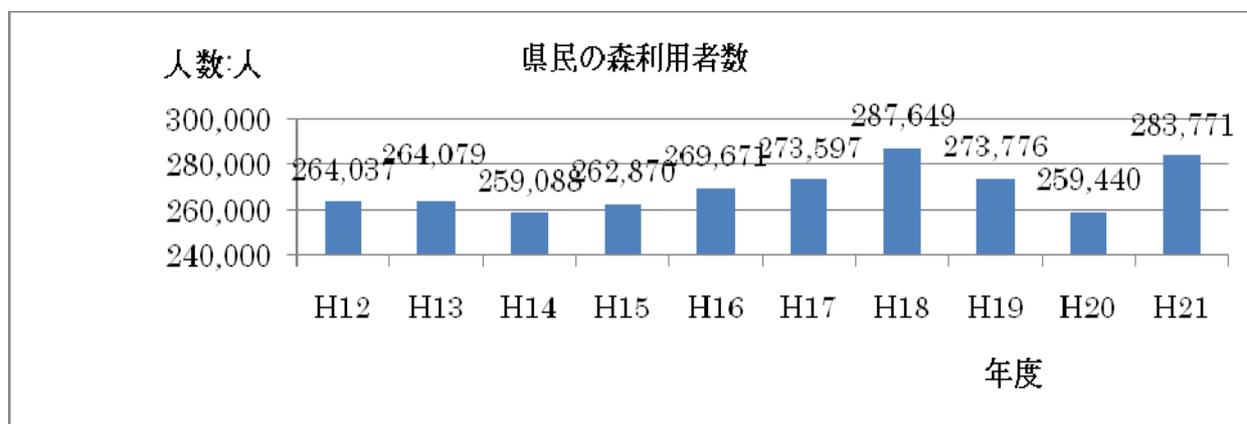
森林路網整備事業・ふるさと林道緊急整備事業等を併せて実施

9 目標に対する評価

目標1：県民の森の入場者数（従前値の5%増）

実績1：H12～H16年度までの年平均利用者数 100.0

H17～H21年度までの年平均利用者数 104.4（4.4%増）



特記事項

目標が達成できなかった理由と今後の対応方針

（目標1）着手後5年平均の利用者数が着手前5年の平均利用者数の5%増をやや下回る4.4%となりました。これは、平成19年1月末で県民の森の中にある栃木県立高原少年自然の家の利用が終了となったことに伴う利用人数の減少が要因の一つと考えられますが、H21年には利用者数が増加傾向になっています。

目標 2 : 市街地路線の整備により交通渋滞の緩和を図る

(市街地部の拠点間の連絡時間を3分間短縮)

実績 2 : 対象区間4区間中3区間で1分間短縮され、1区間においては変化がなかった。

実走行による所要時間及び短縮時間

対象設定区間	所要時間	短縮時間(上段:H16調 - 下段:H22調)
塩谷庁舎～矢板運動公園	6分	1分
	5分	
JR矢板駅西口～城の湯温泉	7分	0分
	7分	
長峰公園～JR矢板駅東口～矢板工業団地～さくら市	11分	1分
	10分	
JR片岡駅～矢板IC(東北縦貫自動車道)	4分	1分
	3分	

特記事項

目標が達成できなかった理由と今後の対応方針

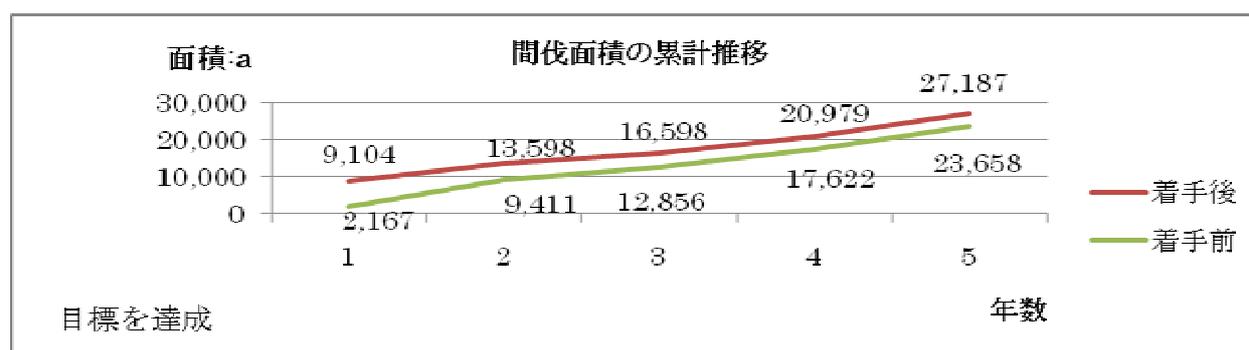
(目標2) 対象区間4区間中3区間で時間短縮が見られたものの目標に届かず、1区間においては時間に変化がなかった。理由としては対象区間中に新設信号が設置されたことや、目標数値の過大設定等が考えられる。

今後の対応としては、引続き道路新設、改築及び修繕を推進し、旅行速度の向上及び道路利用者へ快適な走行を提供する。

目標 3 : 森林整備による地域環境の改善(間伐実施面積の5%増)

実績 3 : H12～H16年度までの年平均間伐面積 100.0

H17～H21年度までの年平均間伐面積 114.9(14.9%増)



目標 4 : 施設拠点へのアクセス改善

- ・ 矢板駅～南産業団地の連絡時間を 2 分間短縮
- ・ 国道 4 号線（土屋地区）～県民の森の連絡時間を 2 分間短縮

実績 4 : 対象区間 2 区間中 1 区間で 1 分間短縮され、 1 区間においては変化がなかった。

実走行による所要時間及び短縮時間

対象区間及び目標設定	所要時間	短縮時間（上段：H16調 - 下段：H22調）
矢板駅～南産業団地の連絡時間を 2 分間短縮	8 分	0 分
	8 分	
国道 4 号線（土屋地区）～県民の森の連絡時間を 2 分間短縮	2 4 分	1 分
	2 3 分	

特記事項

目標が達成できなかった理由と今後の対応方針

（目標 4）対象区間 2 区間中 1 区間で時間短縮が見られたものの目標に届かず、1 区間においては時間に変化がなかった。理由としては対象区間内の未相続用地の不調や、目標数値の過大設定等が考えられる。

今後の対応としては、引続き道路新設、改築及び修繕を推進し、旅行速度の向上及び道路利用者へ快適な走行を提供する。

【総合評価及び今後の方向性】

《総合評価》

本計画は、観光リゾート拠点への集客増と森林整備による環境改善並びに交通渋滞緩和による都市や地域間との交流を促進することで地域の活性化を目指しました。

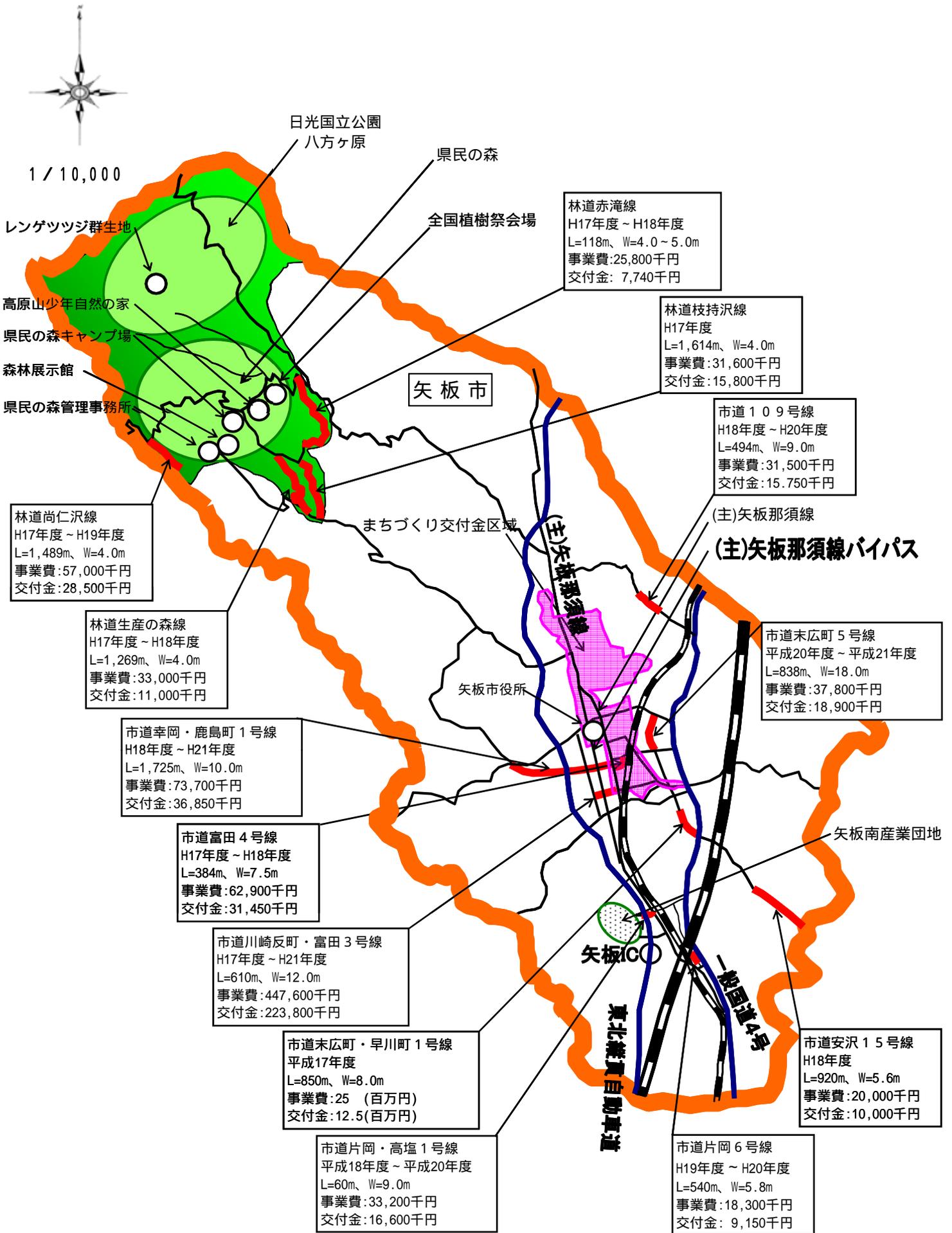
森林整備による間伐実施面積については目標を達成したが、集客数及びアクセス改善（時間短縮）については、増加・改善傾向ではあるものの目標値の達成には至りませんでした。

従いまして、今後も引き続き道路整備による交通ネットワークの構築と併せて拠点施設への案内・PR等が必要と考えられます。

《今後の方向性》

拠点施設での集客率向上は、経済状況や社会情勢の変化によって、大きな影響を受けてしまうが、道路交通情報や施設情報及び拠点施設へのアクセス方法などの情報提供等の充実を推進することで、交通渋滞緩和及び拠点施設の集客率向上を目指し、都市や地域間との交流促進を図る。

事業箇所図



参考資料(矢板市)

- 1 地域再生計画の名称 豊かな自然を活かした活力ある矢板市のまちづくり
 2 計画作成主体 栃木県、矢板市

【目標達成状況】

【数値目標1】 県民の森の入場者数(従前値の5%増)

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
単位:人	264,037	264,079	259,088	262,870	269,671	273,597	287,649	273,776	259,440	283,771

a事業着手前5年間(H12~16)の年平均来訪者数 263,949人
 b事業着手後5年間(H17~21)の年平均来訪者数 275,647人
 増加率% (b/a)*100-100 4.4%増

目標値	増加率	達成率(%)
5%	4.4%	88.0

考察:評価書「9 目標に対する評価」の目標1の特記事項に記載。

【数値目標2】 市街地路線の整備により交通渋滞の緩和を図る(市街地部の拠点間の連絡時間を3分間短縮)

対象設定区間	H16(基礎数値)	H22	目標値	短縮時間	達成率(%)
塩谷庁舎~矢板運動公園	6分	5分	3分	1分	33.3
JR矢板駅西口~城の湯温泉	7分	7分	3分	0分	0
長峰公園~JR矢板駅東口~矢板工業団地~さくら市	11分	10分	3分	1分	33.3
JR片岡駅~矢板IC(東北縦貫自動車道)	4分	3分	3分	1分	33.3

考察:評価書「9 目標に対する評価」の目標2の特記事項に記載。

【数値目標3】 森林整備による地域環境の改善(間伐実施面積の5%増)

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
単位:a	2,167	7,244	3,445	4,766	6,036	9,104	4,494	3,000	4,381	6,208
累計面積a	2,167	9,411	12,856	17,622	23,658	9,104	13,598	16,598	20,979	27,187

年数	1	2	3	4	5
着手後	9,104	13,598	16,598	20,979	27,187
着手前	2,167	9,411	12,856	17,622	23,658

単位:a = 100m²

a事業着手前5年間(H12~16)の年平均間伐面積 4,732 a
 b事業着手後5年間(H17~21)の年平均間伐面積 5,437 a
 増加率% (b/a)*100-100 14.9%増

目標値	増加率	達成率(%)
5%	14.9%	298.0

考察:着手後5年間の間伐実施累計面積が目標を達成できた。

【数値目標3】 施設拠点へのアクセス改善

対象区間及び目標設定	H16(基礎数値)	H22	目標値	短縮時間	達成率(%)
矢板駅~南産業団地の連絡時間を2分間短縮	8分	8分	2分	0分	0
国道4号線(土屋地区)~県民の森の連絡時間を2分間短縮	24分	23分	2分	1分	50.0

考察:評価書「9 目標に対する評価」の目標4の特記事項に記載。

【事業結果】

市町村道

- ・事業区域:矢板市全域
- ・事業期間:平成17年度~平成21年度
- ・事業量
- 計画:7,929m

事業年度	H17	H18	H19	H20	H21	合計
整備延長	1,130	2,123	490	1,041	1,637	6,421 (m)

・事業費

計画:664,600千円(内交付金332,300千円)

		H17	H18	H19	H20	H21	合計
交付申請額	全体事業費	82,000	140,000	136,000	199,000	193,000	750,000
	補助対象事業費	82,000	140,000	136,000	199,000	193,000	750,000
	交付金(国費)	41,000	70,000	68,000	99,500	96,500	375,000
実績額	全体事業費	82,000	136,300	139,700	199,000	193,000	750,000
	補助対象事業費	82,000	136,300	139,700	199,000	193,000	750,000
	交付金(国費)	41,000	70,000	68,000	99,500	96,500	375,000

(千円)

林道

・事業区域:矢板市全域

・事業期間:平成17年度～平成21年度

・事業量

計画:6,171m

事業年度	H17	H18	H19	H20	H21	合計
整備延長	2,674	1,207	609	0	0	4,490 (m)

・事業費

計画:387.4百万円(内交付金183.04百万円)

		H17	H18	H19	H20	H21	合計
交付申請額	全体事業費	78,400	49,000	100,000	80,000	80,000	387,400
	補助対象事業費	78,400	49,000	100,000	80,000	80,000	387,400
	交付金(国費)	33,800	19,240	50,000	40,000	40,000	183,040
実績額	全体事業費	78,400	49,000	20,000	0	0	147,400
	補助対象事業費	78,400	49,000	20,000	0	0	147,400
	交付金(国費)	33,800	19,240	10,000	0	0	63,040 (千円)